

# DNAマーカーを用いた水稻の県育成品種等の識別

福島県農業総合センター 作物園芸部  
平成19年度農業総合センター試験成績概要

## 1 部門名

水稻 - 水稻 - 品種、バイオテク  
分類コード 01-01-01730000

## 2 担当者

沼田慎一

## 3 要旨

DNAマーカーによる品種識別技術は、迅速かつ客観的な識別を可能とすることから品種の不正流通や偽装表示を防止する有益な手段である。既報<sup>1)</sup>の水稻品種識別マーカーを利用して国内の主要130品種と県育成品種「ふくみらい」、「夢の香」が識別可能であり、また、本マーカーにより異品種が1%混入しても検出可能である。

- (1) 水稻のDNA抽出について、葉片からは「CTAB法」、玄米からは「改変CTAB法」を用いることにより品種識別に十分なDNAが得られる。
- (2) 15種の品種識別マーカーを用いることにより、国内で栽培されている主要130品種と「ふくみらい」、「夢の香」が識別できる。
- (3) DNA抽出～品種識別までの全ての作業に2日間を要する。
- (4) 玄米100粒中に、異品種が1粒混入しても検出することができる。

## 4 その他の資料等

- 1) 新村ら、育種学研究 7:87-94(2005)